

Japan Services (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

クラウドを中心とする第3のプラットフォームの市場への浸透は、ITサービスベンダー各社にビジネスモデルの変革を迫っています。特に、SIやITアウトソーシングを提供するだけではなく、ビジネスコンサルティングやBPOをうまく組み合わせることも重要な手段となります。IDC Japan年間情報提供サービス「Japan Services (Japanese Version)」は、ITサービスとビジネスサービスを包括的に分析することで企業のデジタル変革(DX)がもたらす市場の変化に対応するITサービスベンダーの戦略立案を支援します。2022年は、ハイブリッドIT環境下で見直しが求められているITインフラサービスの調査を強化し、ITインフラサービス事業者動向レポートを発行します。

Markets and Subjects Analyzed

- プロジェクトベースサービス
- マネージドサービス
- ビジネスコンサルティングサービス
- BPO (Business Process Outsourcing) サービス
- データセンターサービス
- 第3のプラットフォーム関連ITサービス市場

Core Research

- 国内ITサービス市場 産業分野別 予測
- 国内CIO調査
- 国内ITサービス市場 サービスセグメント別/産業分野別ベンダー競合分析
- 国内ビジネスサービス市場 予測
- 国内データセンターサービス市場 予測
- 国内第3のプラットフォーム関連ITサービス市場予測
- IDC FutureScope: Worldwide Services 2022 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Services \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

- 国内ITサービス市場のダイナミクスは各カテゴリでどのように異なるのか?
- 国内ビジネスサービス市場はどのように発展していくのか?
- 国内サービス市場におけるリーディングベンダーはどこか?
- リーディングベンダーのDX実現に向けたサービス戦略は何か?
- 第3のプラットフォーム/DXに向けたITサービス/ビジネスサービス支出は、今後どのように成長していくのか?
- 企業のITサービス購入行動はどのように変化していくのか。

Companies Analyzed

IDCでは、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います(アルファベット順、50音順)。

IBM、NEC、NTT データ、SCSK、TIS、アクセンチュア、伊藤忠テクノソリューションズ、東芝、日本ユニシス、野村総合研究所、日立製作所、富士通、その他